

はじめに

文化には文系も理系もないのは当然である。人間の精神活動に分割や分類を持ち込むことは、創造性を破壊することにはほかならない。そのような意味において、「白樺サロンの会」に物理学を生業とする者が加わることに、一定の意味があるのではないかと思っている。

少年の頃より奈良の自然と文化には親しみと安らぎを覚えてきた。いまこうして志賀直哉旧居を空間的な拠点とし、「りずむ」という歴史的時間の流れの中でささやかな活動の輪に加わせて頂いていることは望外の幸せである。

白樺サロンの会
橋元淳一郎